

令和5年度 第40回「海の子山の子交歓会」開催要項

1 事業目的

従来、「海の子山の子交歓会」事業については、姉妹都市である山形県上山市の児童生徒との交流で、上山市との共催事業として昭和48年から実施してきた。東日本大震災により、事業は中断となったが、平成24年度から、上山市を会場とした「わんぱく交歓研修会」事業に招待され交流を再開し、平成29年度からは相互訪問事業として実施し、例年7月は上山市、11月は名取市会場として実施してきた。

令和3年度、震災から10年の節目として「海の子山の子交歓会」の事業を復活させるべく上山市と再開を計画したが、新型コロナウイルス感染症の影響により中止となった。

令和4年度、ウィズコロナのもと新たな生活様式を取り入れた中で、両者会場共に再開を果たした。

今年度も、両市相互の環境・施設等の特色を活かした野外活動等の体験学習を通して、両市相互の児童生徒同士の友情を育み、姉妹都市の交流を深める内容として継続して実施する。

2 主 催 名取市教育委員会、上山市教育委員会

3 協 力 ジュニア・リーダー・サークル「あにまるず（名取市）」、「あすなる（上山市）」

4 期 日 （名取会場）
令和5年7月27日（木）～7月28日（金）

（上山会場）
令和6年2月3日（土）～2月4日（日）

5 宿泊場所 （名取会場）名取市サイクルスポーツセンター
（上山会場）蔵王ライザ ウッディロッジ

6 対 象 名取市・上山市の児童生徒 小学4年生～中学2年生 48名程度（両市各24名）
※対象人数の設定は、宿泊会場及び体験活動内容を勘案し設定。
定員超過の場合は抽選とする。

7 活動内容 **（名取会場）**

【1日目】

- 開会アトラクション 手倉田枅取り舞保存会による無形民俗文化財の披露
- アイスブレイク&レクリエーション活動（あにまるず・あすなる）
- 名取市歴史民俗資料館見学&「絵灯籠づくり」
- サイクリング活動&おもしろ自転車体験
（雨天時はゲーム・レクリエーション活動）
- 「震災講話と絵灯籠の灯」

【2日目】

- 「かわまちてらす閑上」にてSUP体験
- 「笹かま手作り体験」
- 「ゲーム・レクリエーション活動」

（上山会場）

【1日目】

- レクリエーション活動（あすなる・あにまるず）
- 「蔵王ライザワールド」でインストラクター指導によるスキー交流

【2日目】

- 「蔵王ライザワールド」で雪遊び体験、雪上バギー体験
- 山の恵みでものづくり体験

- 8 参加費用 8,500円/1人 ※両会場併せての費用。保険料込。
- 9 募集方法 市内小中・義務教育学校にチラシ及びポスターを配布し、各個人で生涯学習課に直接申し込む。
- 10 事前説明会 保護者及び参加者への事前説明会・オリエンテーションとして、令和5年7月5日（水）午後7時から文化会館小ホールで開催する。
- 11 その他 ジュニアリーダーサークルあにまるずは、事前に現地下見のうえ、活動場所の確認及び避難誘導等危険予知トレーニングを実施する。

名取会場 体験活動のねらい

	活 動	活動内容のねらい
1	開会アトラクション 無形民俗文化財「手倉田枅取り舞」	手倉田の農家に歌い継がれてきた枅取り舞。田植えから始まり、収穫、収納までが唄と踊りで綴られ、五穀豊穡を祈り豊作に感謝する素朴な歌舞となっています。 市指定の無形民俗文化財に触れることを通して、先人の苦勞や願いを知り、地域文化への興味・関心を高めることができるようにする。
2	アイスブレイク&レクリエーション活動	活動を始める前の初顔合わせ時に、両市の児童生徒がアイスブレイク、レクリエーション活動を通して、緊張をほぐすとともに、お互いの理解を深め、今後の活動をスムーズにできるようにする。
3	名取市歴史民俗資料館見学	市内で発掘された様々な出土品や展示物の見学を行い、名取の歴史文化への興味関心を高める。
4	絵灯籠づくり	東日本大震災で津波による甚大な被害を受けた名取市閑上地区。震災時の出来事と絵灯籠の意味を学び、震災の継承と災害について考える機会とする。
5	サイクリング活動&おもしろ自転車体験	グループでのサイクリングを通して、協調性を育むとともに、珍しい自転車に乗り、様々な自転車のこぎ方を体験して身体を動かす心地よさを体感する。
6	震災講話と絵灯籠の灯	東日本大震災で起こった出来事を学び、思い思いに作製した絵灯籠を灯し、追悼の機会とする。
7	SUP (スタンドアップパドルボード)	名取の新たな夏のウォータースポーツである「SUP」を仲間と協力して漕いで進むことで達成感を味わうとともに、自然のすばらしさを体感する。
8	笹かま手作り体験	閑上が発祥であるといわれる「笹かまぼこ」の歴史を学び、実際に魚をすり身から笹かまづくりを体験することで、郷土食の良さ・名取市への理解を深めることができるようにする。